

# 平成 30 年度 事業計画

メインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

## I 基本方針

仙台市老人クラブ連合会は、全国老人クラブ連合会の掲げる、メインテーマ「のぼそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」と「健康・友愛・奉仕」の三大目標をもって、老人クラブの活動を充実させようとして取り組んできている。

一方において、全国的にも老人クラブの会員は減少傾向にある中、当連合会の会員も減少が続き、増強運動の取り組みにもかかわらず、今や10,144人と危機的な状態にあると言える。

老人クラブの活動は会員あってのものであり、会員の減少を防止する上においては、多くの会員が積極的に継続して活動に参加できる環境の実現が必要であり、誰もが魅力を感じる老人クラブである必要がある。

平成30年度においては、この危機的な状態を打開するため、多くの高齢者が加入したいと感じる「魅力的な老人クラブ」像を明確にし、その実現に必要な具体策の立案、展開に向けて、当連合会挙げて鋭意取り組むものとする。

## II 重点目標

### <会員増強>

- 1 未加入クラブへの組織的な加入働きかけ等の実施
- 2 クラブの若返りと活性化のため、若手高齢者への加入の働きかけの強化

### <健康・友愛・奉仕>

- 3 「高齢者の健康づくり」・「生きがいづくり」・「社会奉仕」の各事業の推進
- 4 高齢化進む地域社会における会員等の孤立防止や日常生活支援の友愛活動の展開

### <組織運営>

- 5 必要な情報が的確に単老会員に提供できる組織運営の実現
- 6 組織運営基盤強化及びリーダー養成講座修了者等の組織運営への積極的な活用
- 7 地域づくりへの貢献をめざした行政との連携

### Ⅲ 事業計画

#### 1 未加入クラブへの組織的な加入働きかけ等の実施

- (1) 地域の未加入クラブに対し、プロジェクトチームを立ち上げ、加入の働きかけを行う
- (2) 各単位クラブにおいて、新規会員の入会実現に取り組む  
そのため、会員一人一人が、老人クラブの魅力等を理解してもらうため、身近にいる高齢者に対して、行事への参加を促し、楽しさを実感してもらうよう取り組む
- (3) 多くの高齢者が興味を持ちそうな活動を増やすよう努力する
- (4) 会員純増の老人クラブに対する表彰と奨励金の交付
- (5) 全老連「100万人会員増強運動」と連携して会員増強に努める
- (6) 新規会員の加入促進に向け、老人クラブ活動の広報活動に力を入れる
  - ①各区役所との合同の事業（区民祭り・豊齢まつり・芸能祭等）の時、会場でパネル展示をして老人クラブ活動の啓蒙に努める
  - ②「介護予防月間」中に老人クラブ活動について解り易く展示

#### 2 クラブの若返りと活性化のため、若手高齢者への加入の働きかけの強化

- (1) 刷新したHP及びリーフレットやパンフレットを活用、団塊の世代を対象にした会員の加入増強を目指す（団塊の世代：1947~1949生まれの人達）
- (2) 身近にいる若手高齢者に対して、老人クラブ加入の意義を理解してもらうよう積極的に働きかけを行う
- (3) 若手会員の取組みやすい環境づくりに努力する、世代間での交流が促進されるように努める
- (4) 社会福祉協議会、町内会、地域包括支援センターとの連携に努め、地域内の若手高齢者の実態把握を行い、勧誘に努める

#### 3 「高齢者の健康づくり」・「生きがいづくり」・「社会奉仕」の各事業の推進

- (1) シルバースポーツセミナーの開催
- (2) シルバースポーツ推進員のフォローアップ研修会の充実
- (3) シルバースポーツ推進員養成講座（健康づくり介護予防リーダー養成講座）開催
- (4) 高齢者の「健康ウォーキング」の推進
- (5) 体育祭、グラウンド・ゴルフ及びゲートボール・ペタンク大会の開催
- (6) 体力測定事業の推進と健康体力維持へ日常でできる「ながら運動」の普及などの働きかけの強化
- (7) 脳の健康づくり研修会の開催
- (8) いきいきクラブ体操の普及・実践
- (9) 全国一斉「社会奉仕の日」活動の取り組み
- (10) 伝承活動、世代間交流活動の展開
- (11) シルバースターズ合唱団、六和功の育成

#### **4 高齢化進む地域社会における会員等の孤立防止や日常生活支援の友愛活動の展開**

- (1) 地域から離れた被災会員に対する孤立防止や日常生活支援の友愛活動に取り組む
- (2) 認知症を発症したり、身体的な衰えが見えたりする会員に対し、状態をきちんと理解した上で、生活支援等の友愛活動に取り組む
- (3) 各地域における「サロン活動」の充実を図る
- (4) 地域の高齢者を把握し、孤立を防ぐ、未加入者にはクラブへの加入も促す
- (5) 新規モデル地区において高齢者相互支援活動の展開を図る

#### **5 必要な情報が的確に単老会員に提供できる組織運営の実現**

- (1) 区老連の理事会主導による地区老連理事会・単位クラブの役員会の開催支援
- (2) 仙老連行事、専門部活動及び委員会活動に関する広報・周知の強化
- (3) 「区老連だより」及びホームページを利用した情報伝達
- (4) 単老実態調査結果の有効利用
- (5) 各区老連の専門部会・委員会と仙老連専門部会・委員会との連携

#### **6 組織運営基盤の強化及びリーダー養成講座修了者等の組織運営への積極的な活用**

- (1) 若手部活動等の強化
  - 1) 企画講演会の実施
  - 2) 人材育成養成講座の実施
    - ①若手リーダー養成講座（6月～8月）  
パソコン技能の修得、リーダー研修
  - 3) 若手部員や若手リーダー養成講座等修了者による仙老連行事等への支援
    - ①体育祭など仙老連行事での活動支援
    - ②各区老連行事での活動支援
  - 4) 各区老連の運営におけるパソコン利用促進に向けた若手会員の活用
- (2) リーダー研修会等の企画及び参加
  - 1) クラブリーダー養成研修会の実施
    - ①新任単老会長研修会
    - ②単老役員研修会、地区老役員研修会（各区老連で実施）
  - 2) 女性部企画講演会、女性部研修会の実施
  - 3) 東北ブロックリーダー研修会への参加（山形県）
  - 4) 都道府県・指定都市老人クラブリーダー中央研修会への参加（東京都）
  - 5) 全国老人クラブ大会への参加（沖縄県）

## 7 地域づくりへの貢献をめざした行政機関等との連携

- (1) 地域社会福祉活動促進に向けた仙台市との連携による研修会の実施
- (2) 高齢者の事故防止等に向けた行政機関との連携
  - 1) 安心安全な地域づくりを目指し、警察署、消防署、地域包括支援センター、消費生活相談センター等との連携
  - 2) 交通事故防止、火災防止、消費者被害防止等の研修会の実施

## 8 広報活動

- (1) 機関誌（H30年7月・H31年1月）・情報紙（機関誌発行月以外の奇数月）の発行
- (2) 企画広報部会を中心とした各種機会を捉えての仙老連の事業・活動の紹介
- (3) 仙老連HPの定期的な更新と内容の充実
- (4) 新聞、テレビ、ラジオなどマスコミへの各種行事情報等の提供

## 9 関係機関・関係団体との連携及び交流

- (1) 全国老人クラブ連合会との連携協力
  - 1) 全老連主催の会議への参加
  - 2) 全老連のスローガン及び全国運動の展開に対する協力
  - 3) 全老連の実施する各種調査等への協力
- (2) 都道府県及び指定都市老人クラブ連合会との連携協力
  - 1) 会長会、事務局長会への参加と情報交換
- (3) 北海道・東北ブロック老人クラブ連合会との連携協力および情報提供
  - 1) 北海道・東北ブロック活動推進員会議への参加と情報交換
- (4) 仙台市（健康福祉局・各区役所）、健康福祉事業団、社会福祉協議会、地域包括支援センターとの事業・活動における密接な連携

## 10 法人の運営

- (1) 通常総会（年1回）の開催
- (2) 理事会（年6回）の開催
- (3) 正副会長会（月1回）の開催
- (4) 専門部会および高齢者相互支援活動委員会の開催（随時）
- (5) 定例監査（年1回）